

平成 25 年 5 月 24 日

大 阪 府 知 事
松 井 一 郎 様

自由民主党大阪府議会議員団

幹事長 花 谷 充 愉



松井知事の米国視察に関する申し入れ

橋下市長のいわゆる従軍慰安婦をめぐる発言は、これまで我が国が長年に亘り培ってきた、諸外国との信頼関係を損い、国益を害しているばかりでなく、国際的に大きな政治問題であるとの批判が高まっている。

これによって、大阪全体のイメージダウンだけでなく、本府、大阪市及び民間の交流を通じ、カリフォルニア州等と築いてきた信頼関係が、大きく損なわれることを大変憂慮している。

松井知事は、本年 6 月米国を視察され、府と友好提携しているカリフォルニア州や、ニューヨーク市などを訪問される予定と聞いている。松井知事、橋下市長は「外交や海外交流は知事が担うべき仕事」と発言されているので、傷ついた関係の修復に全力で当たるのは、知事としての責務である。

この度の知事の米国視察では、本来の目的を橋下市長の発言によって損なわれた事態の收拾に努めることを第一の目的とされるよう、自由民主党大阪府議会議員団として強く申し入れる。